



第14回企画展 樺山祐和と描く 森と海の 美術展

MAUO
Musashino 1929-2029
Art University 100th
美はつづく。

ISHINOMAKI
CITY MUSEUM

武蔵野美術大学 × 石巻市博物館

会場：石巻市博物館 企画展示室

開館時間：9時～17時（最終入館 16時30分） 休館日：月曜日（月曜祝日の場合、翌日休館）

観覧料：一般 600円 / 高校生 300円 / 小中学生 200円
※上記料金で常設展も観覧できます。 ※20名以上の団体は2割引

住所：〒986-0032 宮城県石巻市開成1-8（マルホンまきあとテラス内）
TEL: 0225-98-4831 eulcenter@city.ishinomaki.lg.jp

主催：石巻市博物館・武蔵野美術大学 協賛：武蔵野美術大学 教授 加藤幸治
後援：TDCRUMS STYLE kbb 日本放送 24age 河北新報社 三陸河北新報社（石巻のみ）
石巻日日新聞社、ラジオ石巻FM76.1、一般社団法人石巻観光協会、一般社団法人石巻観光推進機構

2026年

01.10 (土)

03.15 (日)

森と海 の美術展

中高生と描き、ともに開催する展覧会

「森と海の実術展」は、武蔵野美術大学(東京都小平市)と石巻市博物館の連携による美術ワークショップです。2024・2025年度は、同大学の榊山祐和学長が、石巻市とその周辺自治体から参加した中高生20名とともに、石巻の森と海でフィールドワークを行い、参加者は榊山学長からの助言や講評を得ながら、絵画作品の制作を行いました。この成果展では、榊山学長とともに描いた中高生の作品を、榊山学長が石巻の森と海を描いた二枚一对の大作「顕」・「際」、木々を描いた作品群とともに展示し、それぞれが対話した森と海のすがたを展示室に浮かび上がらせます。



【トークイベント】榊山祐和学長が語る、中高生とともに描いた石巻

日時：2026年2月28日(土) 13:00~14:30 ※予約不要、参加無料

会場：石巻市博物館企画展示室

講師：武蔵野美術大学 榊山祐和学長 (聞き手：同大学 加藤幸治教授)

内容：榊山学長が自身の作品を前にして絵画について語ります。

【同時開催展】MORI to UMI -若手作家・デザイナーたちによる「森と海の実術展」-

日時：2026年1月10日(土)~1月19日(月) 9:00~17:00 ※入場無料 ※13日(火)は休館

会場：石巻市指定文化財 旧親慶丸商店 1階文化交流スペース

内容：ワークショップで中高生とともに石巻を歩き、作品制作の指導をした武蔵野美術大学卒業生や大学院生による、もう一つの「森と海の実術展」。

陸の果てに立ち、いのちと向き合う

森と海が大胆に力強く出会っている場所が半島です。半島は岬と呼ばれます。みさきの「み」は神(かみ)との深いつながりを表しているそうです。そこは自然が赤裸々にその姿を露わにし、生と死を感じさせてくれる場所であり、その地に私たちは神性や生命の力を見てきたのです。そして現代人が忘れそうになっている大切なものに再び気づくことのできる場所です。

今回、「顕(あらわれ)」「際(きわ)」というタイトルの二つ作品を制作しました。図らずも海と森を描くことになりましたが、この地を描いたことに深い縁と不思議を感じています。

中高生みんなの純粋で率直な表現や考えが聞けたことも楽しかったです。表現することは世界との対話であり、同時に自分自身との対話でもあります。一つの作品が多様な言葉を引き出すことや、自己の意識や感覚が生きて生きたとしていれば、どんな世界でも素晴らしいものに見えてくることを知ったでしょう。この経験が今後に活かされることを信じています。

武蔵野美術大学 学長 榊山祐和

〈公共交通をご利用の場合〉

●仙台駅→石巻駅

電車：JR仙石東北ライン 仙台駅1~6番ホームから乗車で約60分

JR仙石線 仙台駅9~10番ホームから乗車で約85分

高速バス：ミヤコーバス(平日のみ) 仙台駅前西口 旧エデン前21番乗り場から乗車で約70分

●石巻駅→マルホンまきあーとテラス

タクシー：石巻駅前タクシー乗り場から乗車で約10分

路線バス：石巻駅前1番乗り場から石巻専修大学線に乗車で13分

総合運動公園(石巻)下車 徒歩約2分

〈お車でお越しの場合〉

●三陸自動車道「石巻女川IC」から約5分 ※駐車場無料(347台)

